

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	IoT を活用した製造現場の改善活動と生産性向上
事業主体 (連絡先)	テクノ安曇野高瀬プロジェクト (事務局：池田町商工会 TEL0261-62-5085)
事業区分	産業振興、雇用拡大
事業タイプ	ソフト
総事業費	685,060円 (うち支援金：513,000円)

事業内容

各事業所のマシニングセンター又はNC旋盤の三色灯にIoTシステムを設置する。IoTシステムの照度センサーにより、青(稼働)・黄(注意)・赤(停止)の点灯状況のデータを時系列に取得しデータベース化した。このデータを加工することで当該機械の稼働状況を、日・週・月別に把握することができた。

このシステムにより稼働状態をリアルタイムにデータ化し、管理作業を削減することができた。



【IoT活用セミナー】

事業効果

IoT活用研究会参加企業(池田町2社、松川村2社)に機械装置にIoTシステムを組み込むことにより、稼働状態が「見える化」された。ここから得られるデータを収集して、コスト削減や納期遅延リスクを軽減したり、生産管理にも活用できた。

池田町・松川村は北安曇郡内の中でも特に製造業者が地域経済をけん引している地区であるが、都市部の大企業に比べてIoTを活用するための戦略が地域全体で不足していた。

今回の事業導入により他地域に先駆けてIoTを導入したことにより、当地域の中小企業等がIoT活用に対する意識を高めることができた。

今後の取り組み

IoTにより、機械装置の稼働状況の把握だけでなく、物流の効率化や機械装置の故障予知、設備保全に結びつけていく必要がある。さらに、画像データ解析による数値のデータ化(メーター自動読み取り)や、ドアの開閉センサー取り付けによる利用状況や段取り時間の数値化による把握をし、生産性向上につなげていく。

- ※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【目標・ねらい】

IoT を活用して製造機械の稼働状況のデータの収集及び解析方法等を習得し、生産性向上に繋げる

※自己評価【 C 】

【理由】

・IoT 集合講座は、当初全5回を予定していたが、事業のスタートが遅れたため(参加企業募集期間の延長による)3回となった。